

北陸地方整備局・北陸信越運輸局 バリアフリー教室等の取組みについて

北陸地方整備局の取組み①

● 北陸地方整備局 北陸技術事務所の構内体験学習場「ほくぎひろば」における体験教室

北陸技術事務所構内には“車いす介助体験”“視覚障害者介助体験”“高齢者介助体験”ができる体験学習場「ほくぎひろば」が整備されています。

◆ 体験にあたって

- 体験受入日：月曜日～金曜日（行政機関の開庁日）
4月～10月、雨天中止
- 受入時間帯：9:30～12:00 および 13:30～16:00
- 小学生4年生以上で、どなたでも体験することができます。
- 必ず事前に予約をし、当日は受入承諾書（またはその写し）を提示してください。
- 1日の体験人数は、40人までです。
- 運動ができる服装でお願いします。
- 小学校については、1コース1名以上の成人（指導監督のできる方）の引率をお願いします。

◆ 体験コース

コース名		所要時間	人数	内容
交通バリアフリー体験 (屋外)	車いす体験	30分	12人	バリアがあることの大変さを体験し、バリアの無い街づくりの大切さを学びます。
	視覚障害者体験	30分	12人	
	高齢者体験	30分	12人	

◆ 申込みについて

- 申込み用紙を、下記までFAXまたはメールで送付してください。

北陸技術事務所 総務課

TEL : 025-231-1281

FAX : 025-231-1282

メール : hokugi_hiroba@gxb.mlit.go.jp

- 体験希望日の、1ヶ月前までにお申込みください。

- 詳細は、北陸技術事務所HPにてご確認ください。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/about/study/918/779/>

◆ 体験状況



【車椅子体験】
段差はゆっくり降りましょう



【視覚障害者体験】
歩車道境界ブロックを頼りに進みます



【高齢者体験】
腰を掛けるのにも一苦労

日時： 令和3年4月30日（金） 13:10~17:30
場所： 越後交通株式会社（新潟県長岡市）
協力： 越後交通株式会社

参加者： 越後交通株式会社 貸切バス乗務員 20名

○実施概要

越後交通株式会社で実施する乗務員研修の中で心のバリアフリーについて座学の講義を実施しました。参加者からは乗務中の高齢者・障害者等と接遇について体験談を発表し、参加者で共有しました。また、同研修中の車両火災訓練には、乗務員役、乗客役に分かれた上で、乗客役のうち数名が高齢者等体験キットを装着したロールプレイを取り入れていただきました。



○参加者からの声

障害者等体験キットを装着した乗客役：

「耳が聞こえないと、『避難するよ』と肩を叩かれるまで、何が起きているのかわからなかった。」

「身体的な自由が効かず、他の方から配慮がないと、脱出できない。」

介助する乗客役：

「自分も怪我をしないよう支えないと（障害者等体験キットを装着した人を）サポートする側が、冷静になる必要があった。」

乗務員役：

「乗務員一人では何もできない。乗客の協力がなければ避難できない。」

日時： 令和3年9月11日（土）11：00～15：00
場所： 金沢市庁舎前広場
主催： 金沢市、金沢市交通まちづくり協議会
協力： 北陸信越運輸局石川運輸支局

来場者数：約100組（ブースへの立ち寄り）

当該イベントブースにて、高齢者障害者等施設などの適正利用に関するポスターの展示や「心のバリアフリー」に関するパンフレットの配布をとおして、周知・啓発を行いました。

※コロナ禍による移動制限のため、車いす・高齢者等体験は中止。



日時： 令和3年12月3日（金） 10:50~12:20
場所： オンライン形式

参加者： 富山短期大学 幼児教育学科の学生 81名

○実施概要

コロナ禍の中で、人同士の接触を避ける開催方法として、日本財団パラリンピックサポートセンター（2022.1~日本財団パラスポーツサポートセンター）が提供するオンライン版「あすチャレ! Academy」のプログラムを活用しワークショップ型で開催。パラアスリートが講師となり、オンライン上で参加者とコミュニケーションを取りながら、疑似障害者体験（目をつぶって駅のホームの音を聞く）や、サポート方法の実演等を学んでもらい、共生社会や心のバリアフリーを理解・体現できるよう意識醸成を図りました。



○参加者からの声

- ・過去に白杖を持った人を見たことがあり、その時はそのまま通り過ぎてしまったが、「何かお手伝いすることはありますか？」という声かけが、安心感をもたらしたり、コミュニケーションにも繋がったらするので、これからは困った人がいたらすぐに助けてあげられるようになりたい。
- ・もし視覚的な障害のある方に街中で出会ったら「大丈夫ですか？」と聞くのではなく、「何かお手伝いすることはありますか？」と、答え方に選択肢のある聞き方をすることを実践してみたい。
- ・声の掛け方や、伝え方などのポイントを知ることができたので、自分から積極的に声をかけたいと思う。
- ・簡潔に分かりやすい説明で、自分が思っていた障がいの世界とは見え方が変わってきた。
- ・実際に実践しながら視覚障害の方への声のかけ方を説明している点分かりやすかった。
- ・オンラインではなくて、実際にきいてみたいと思うくらい楽しかった。
- ・上下肢障がいのことについて、配慮点や車椅子を押すときの注意点などを教えていただきたかった。
- ・パラリンピックについて、どんな競技があるのか、どのように障がいの程度が分かっているのか、もっと知りたいなと思いました。
- ・日本のバリアフリーは海外と比べるとどれくらい進んでいるのか？または遅れているのか？そして、いま自分たちにできることは何かを知りたい。



令和4年3月9日
海事部運航労務監理官

安全統括管理者・運航管理者研修会について ～今年度はオンライン動画配信で開催します～

船舶を運航する事業者のみなさまへ

当局では船舶を運航する事業者における安全統括管理者、運航管理者の資質及び運航の安全管理の向上を図るため、例年、標記研修会を開催しております。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の状況が予断を許さない状況にあることから、令和3年度は下記のとおり動画配信サイト「YouTube」の北陸信越運輸局公式チャンネルに講義の動画を配信することにより実施することとしました。事業者のみなさまにおかれましては、安全運航に向けて、安全管理要員・運航管理要員をはじめとする幅広い職員のスキルアップの機会として、ご活用ください。

1. YouTube 北陸信越運輸局公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLRJPgank025tzT7vH6J4xA>



2. 研修資料のダウンロード

北陸信越運輸局HPでダウンロードできます。

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/passenger/index.html>

(北陸信越運輸局HPトップページ→「旅客船・海事関係イベント情報」)



3. その他

- ・スマートフォンでも受講可能です。ただし、動画再生には大量のデータ(パケット)通信を行うため、Wi-Fi環境での視聴を推奨します。
- ・通信料等は参加者にご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。
- ・講義の動画配信及び資料のダウンロードは3月10日から17日までの期間限定です。



ほくしーちゃん

お問い合わせ
海事部運航労務監理官
電話：025-285-9160

対 象：船舶を運航する事業者
開催方法：動画配信サイト「YouTube」
北陸信越運輸局公式チャンネルに配信
配信期間：令和4年3月10日から17日まで

北陸信越運輸局が定期的に行う、安全統括管理者・運航管理者研修会において、主催する海事部より「バリアフリー」についての講演を講義の一コマとして依頼されたことから、バリアフリーを知ってもらう一つの契機になると考え、海事部と連携して取り組みました。

なお、今年度の開催方法は「YouTube」動画配信による形式がとられ、アクセス数は次のとおりとなりました。

【動画タイトルとアクセス数】

～バリアフリーについて～

(1) バリアフリー化の重要性

⇒アクセス数 117

(2) バリアフリー法の話

⇒アクセス数 62

(3) 心のバリアフリーを知ってみる

⇒アクセス数 56

(4) なぜ心のバリアフリーを考えなければならないのか

⇒アクセス数 51

北陸信越運輸局の取組み⑤

日時： 令和3年10月28日（木） 12:45 ~ 15:00
 場所： 直江津港ターミナル（新潟県上越市）
 内容： ジェットfoil船内・直江津港ターミナル内の施設見学、意見交換
 参加者： 移動等円滑化評価会議北陸信越分科会委員等 14名
 協力： 佐渡汽船株式会社、佐渡汽船シippマネジメント株式会社、古川海運株式会社
 主催： 移動等円滑化評価会議北陸信越分科会事務局



■参加者からの意見等

（ジェットfoil）

- ・ スロープについては、黒色だと視覚的に傾きを感じづらいので、ラインを引いて変化が分かるようにするとか、「段差があります」などのメッセージによる案内があるとよいと思う。
- ・ 船内では車いす使用者が進行方法に向いて座れない（横向きで車いすが固定される）ことは残念なので、例えば、座席を外して車いすスペースを広げるとか、荷物置き場の一部を専用スペースとして活用するとか、車いす固定用のフックを何力所かに付けて座席を選べるような環境にするなど、解消に向けて検討してほしい。やはり、長時間の運航であることを考慮すると、開放感がある場所にいたいと感じる。
- ・ 車いす使用者に限らず、高齢者、ベビーカー等を利用した乗船も想定されることから、多様な使い勝手の良いスペースが一つできるとよいと感じた。

（ターミナル）

- ・ 「障害者手帳をお持ちの方は窓口へ」という案内になっているが、小柄な方や車いす利用者は窓口の高さが一定のため、やりとりが大変ではないかと感じたので、ボタンを押すと係員が出てきてくれるとか、1カ所低いカウンターを設置するといった対応があるとよいと思う。
- ・ 耳が聞こえない方への対応として、窓口で「筆談希望の方はお声かけください」等の案内があるとよいと思う。
- ・ 女子トイレにも一室でいいので、車いすで入れる個室があるとよいと思う。
- ・ エレベーターは重量的にも、広さ的にも、付き添いが一緒に乗ることができなかった点で、不安感があった。
- ・ 車いすでのエスカレーターの上り下りを初めて体験したが、非常に安心して乗り降りができた。
- ・ 車いす使用者が来たらどこから案内してくれるのか、イメージがつかみにくいので、もう少し丁寧な案内があるとよいと感じた。

■事業者より

- ・ スロープの安全対策や筆談の窓口案内については、すぐに対応していきたいと思う。費用がかかる部分については、すぐに改善することは難しい。
- ・ もともとバリアフリーに適合していない船舶をバリアフリー化させており、座席の取り外しも簡単にはできないため、ジェットfoilの進行方向を向けない座席の問題については対応が難しい。また、固定用フックの取り付けは可能かもしれないが、車いすを置くスペースや、他のお客さんの座席との兼ね合い等も考慮する必要があるため、実施にあたっては検討する必要がある。
- ・ いただいた意見は、社内で共有を図りながら対応を検討していきたい。



北陸信越運輸局の取組み⑤

【ジェットfoil船内】



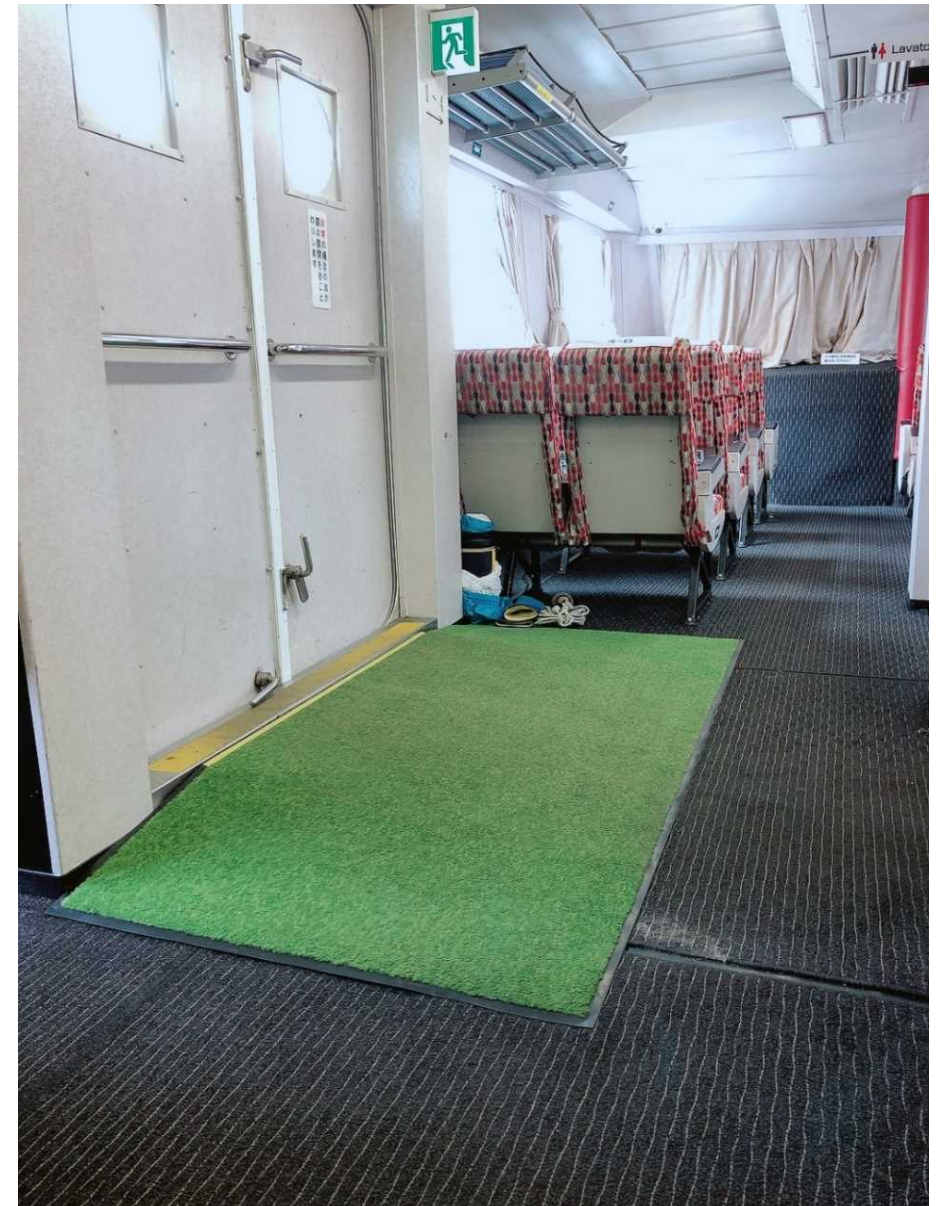
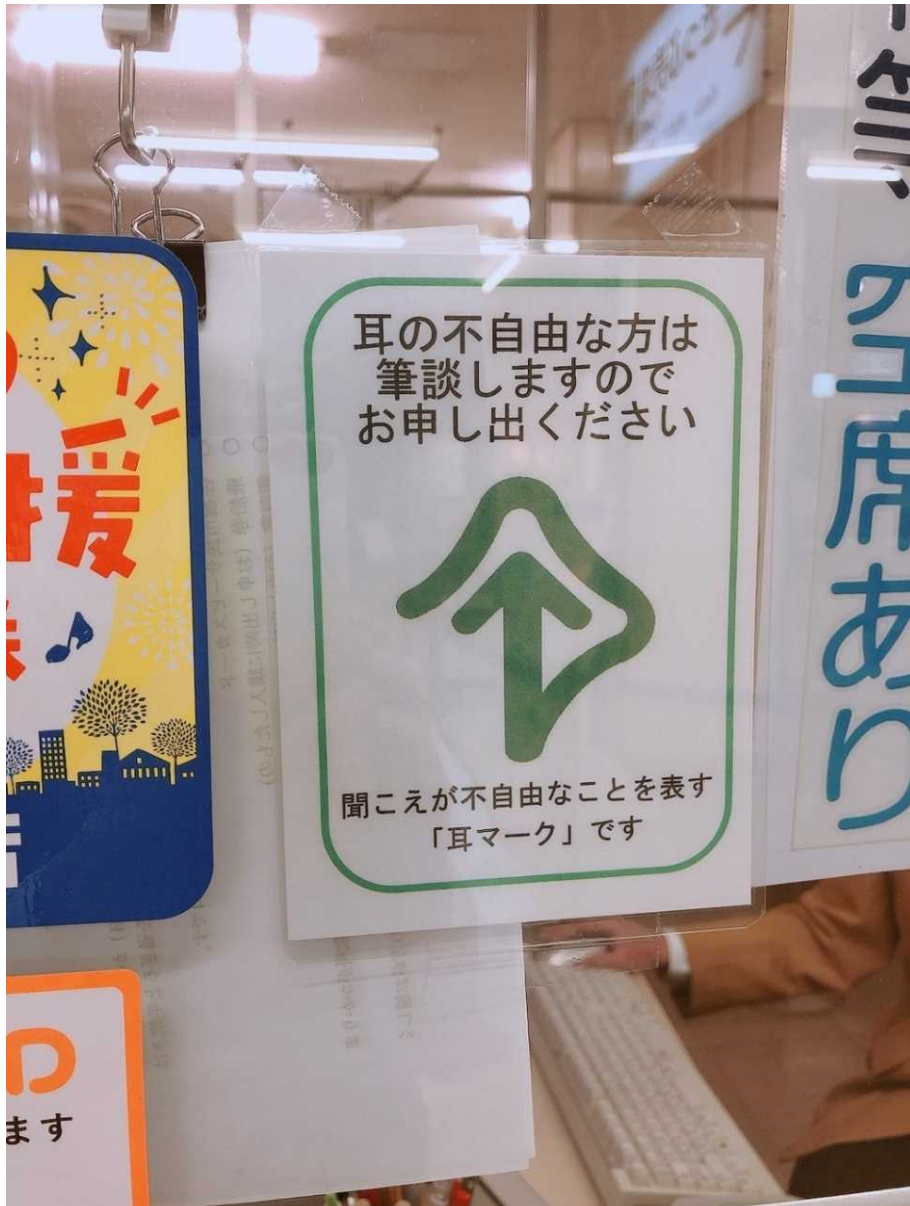
【直江津港ターミナル内】



北陸信越運輸局の取組み⑤

佐渡汽船からの報告

意見交換会でいただいたご意見にあった「筆談の案内」につきましては、各港窓口にて添付のご案内を掲示し対応しております。
 黒一色だと視覚的に傾きを感じづらいとの意見につきましては、色違いのマット設置することで対応しております。
 このほかにも、対応できるものから改善していけたらと思います。



県・市町村担当者向けセミナーの開催

移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想制度の周知と計画作成の促進を図るため、県・市町村担当者を対象に、作成支援セミナーをオンラインで開催いたしました。

「マスタープラン・基本構想作成支援セミナー」

日 時：令和4年1月20日（木） 14：00～15：00）

形 式：オンライン

参加者：10自治体（計15人）

内 容：移動等円滑化促進方針（マスタープラン）・バリアフリー基本構想の作成について

説明者：国土交通省 総合政策局バリアフリー政策課

みて ふれて 遊んで 学べる

ほくりく ちほう せいびきょく にいがた ちほう きしやうだい ほくりく しんえつ うんゆきょく
北陸地方整備局 新潟地方気象台 北陸信越運輸局

けんがく

見学デー

2022.

7 | 27

水

9:30 ▶ 12:00
13:00 ▶ 15:30

参加
無料

こくどうつうしやう きしやうだい おこな
国土交通省や気象台が行っている、
みなさんの安全・安心を守る仕事について、
楽しく体験して学べます!

こ なつやす じゆうけんきやう
子どもたちの夏休みの自由研究のテーマを
み 見つけることができるかも!



すいろ もけい
水路模型



デジタルトランスフォーメーション
DX
体験



たつまき たいけん
竜巻体験



こがた ねんりやう
小型燃料
電池バス



ごうう たいけん
豪雨体験



な すな たいけん
鳴り砂体験



さいがいじ
災害時に
はたら
働く車

主催・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局
国土交通省 北陸信越運輸局
気象庁 新潟地方気象台

TEL: 025-280-8834

TEL: 025-285-9152

TEL: 025-281-5873

(企画課)
<https://www.hrr.mlit.go.jp/>

(バリアフリー推進課)
<https://www.ttb.mlit.go.jp/hokushin/index.html>

<https://www.data.jma.go.jp/niigata/>

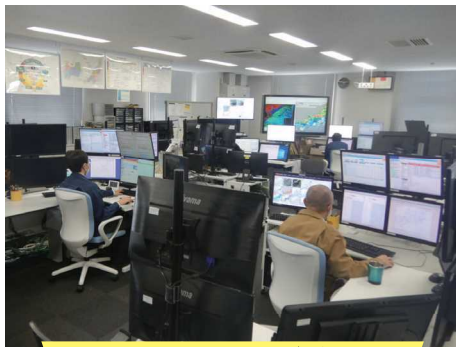
しせつけんがく
 みまな 見て学ぼう **施設見学**

普段は見ることのできない建物内の施設を見学できます!

事前申込
 必要



さいがいいたいさくしつ デジタルトランスフォーメーション たいけん
災害対策室 / DX体験



てんき かいせき よほう げんぎょうしつ
天気解析・予報 (現業室)

▼ 施設見学はこちらの QR コードからお申込ください。



【申込メ切】2022年7月6日(水)15時
 施設見学は参加人数に定員がありますので、
 申込多数の場合は抽選となります。

たいけん がくしゅう
 たのまな 楽しく学べる **体験・学習コーナー**

体験をしながら楽しく学べる
 メニューがたくさんあります!

事前申込
 不要



じしん たいけん
地震体験



きょう てんけんしゃ
橋りょう点検車



たいけん
バリアフリー体験

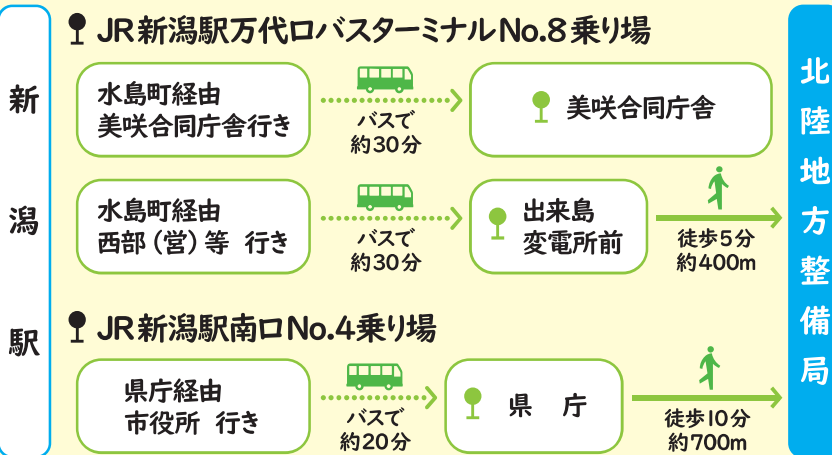
このほかにもいろいろな体験メニューがあります!
 詳しくはこちらのホームページをご覧ください。



災害・気象条件や新型コロナウイルス感染症の影響により、見学デーを中止させていただく場合があります。
 見学デーが中止になる場合は、北陸地方整備局ホームページでお知らせします。

会場では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための基本的な対策の実施にご協力ください。

公共交通機関
 (バス)でのアクセス



駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関を利用してご来場ください。